



新年おめでとうございます。今年も講師一同将棋を通じて、健全育成・棋力向上(考える力)の為の一助として、ご指導致したいと思っています。

有段者のと金OBの方たちは、おおむね有名進学校に入学を果たしております。是非有段を目指して下さいね。

本日は、「**新春将棋大会**」を開催いたします。日頃、切磋琢磨(せっさたくま)した成果を試して下さい。

又 今年も元全国高校女子選手権将棋大会・連覇の**中村仁美先生**が皆さんへ指導対局に来訪されます。(岐阜市出身)中村先生のホームページも是非ご訪問して下さい。URL Nocturn9-2

## 詰将棋の解き方(加藤一二三九段のアドバイス)

詰め将棋はどの問題も、平凡な攻めをしたのでは詰まないように作られています。思い切った捨て駒や、手順の工夫によって巧みに玉を追い詰めていかないといけないのです。

まずよく用いられる手筋は、**脱出封鎖の手筋**です。玉が逃げてくるところに、あらかじめ王手の捨て駒をして、受け駒で取らせることによって、逃げ道を封じてしまう手筋です。

次によく生じるのは、**玉を下段に落とす手筋**です。角や銀の捨て駒によって、上部脱出に成功したかのように見える玉を、攻めやすい下段に誘ってトドメを刺します。これにかぎらず、一般に連続捨て駒が用いられます。

それから、詰め将棋で頭を悩ませるものの一つに、打ち歩詰めがあります。**“歩詰め詰みあり”**といまして、詰め将棋では単純に王手をしては打歩詰めの禁手になるところでも攻め駒を捨てて、わざと玉の逃げ道を作ってやることによって、歩打ちを実現することがあります。またこのために、実戦では敵陣に駒がはいれば当然成るところを、あえて不成として玉の逃げる余地を与えて、狙いの歩を打つ技もよく狙います。

詰め将棋では、玉を詰める基本手筋や、基本の型がいくつかありますから、問題に接してそれらを理解していけば、他の問題を見たときに、どの形に追い込んでいけるかということが、大体わかってくるのではないかと思います。



## 将棋盤の星の意味は

将棋盤の星とは、盤面にある四つの点のことで一般的に「星」と呼ばれています。これは自陣と相手陣を区別する為にあるもので基本的にはそれ以上の意味は無いと思われています。

ただこの星は四つの方向つまり、

- 1)玄武(げんぶ)-----北方の神
- 2)朱雀(すざく) -----南方の神
- 3)青竜(せいりゅう)----東方の神
- 4)百虎(びゃっこ) -----西方の神



を表すとの説もあります。古代では偶数を陰、奇数を陽とし陽数のうち最大の数が九で将棋盤は九 x 九、つまり「重陽」となることから盤の広さは一番縁起のよい広さに決めたとされる説もあり、星は盤を九つの空間に分ける位置に有り更に分けられた部分のマスの数がそれぞれ九になるため陽数を強調したものとの説もあります。

## 12月開催の昇級・新入会者

12月14日開催分 保竹柁君 3級昇・上級Aへ、新入会・木村寿伸さん2級認定(大学生)

12月28日開催分 臼田和貴君9級昇・中級Aへ。井口雅輝君6級昇、篠田一輝さん(一般)新入会)。

## 他の将棋大会

2月2日(日) 第43回全国3人制支部将棋対抗戦・愛知県大会・名人戦愛知県大会(港湾会館・受付9:30開始10:00)

2月2日(日) 第21回シニア名人戦愛知県大会(港湾会館・受付9:30開始10:00)

2月11日(祝) 小学館・集英社杯第39回愛知県小学生名人戦及び小学生交流将

**2月の開催日 愛知東邦大学・学生食堂 PM1:30 ~ PM4:20**

**2月1日(土)第1土曜日 ・ 2月8日(第2土曜日)**